

復興と未来づくり

輝く はくい 2.0



きし博一ってどんな人?

1954年、羽咋市旭町に生まれる。明治大学法学部を卒業後に、 羽咋市役所に入庁。企画財政課長や広域圏事務組合事務局長など の要職を歴任。退職後は羽咋市議会議員として尽力した。

令和2年には羽咋市長選に立候補し、市長に当選。就任後は、国や 県の補助金を活用し、過去最大規模の政策を実現。

令和5年には羽咋市の統計史上初となる転入超過(市内に移住して くる人数が、市外に移住していく人数を上回る)を達成した。

10/6回羽咋市長選挙

期前 9/30周~10/5日



#投票へ行こう

投票所入場券がなくても投票できます。念のため身分証明書をお持ちください。

きし博一の輝く政策5本柱

未来につながる 復興プロジェクト

暮らし・経済・コミュニティを 再建し災害に強いまちへ

- ●暮らしの再建と災害公営住宅の整備
- ●なりわいの再建と風評被害対策
- ●被災者の心と身体の健康を守る
- ●コミュニティと文化財の再生
- ●都市防災力の向上
- ●防災保健センターや危機管理監の設置

最先端の 子育て・教育支援

出産・子育て・教育までの 切れ目ないサポートを強化

- ●保育料、給食費、18歳までの医療費の無償化を継続
- ●出産から入学までの支援を強化
- ●不妊治療や妊産婦健診の助成拡大
- ●病児保育の開始と休日保育の充実化
- ●デジタル教育と英語教育のさらなる推進
- ●小学校と放課後児童クラブの連携強化

住みやすく活気ある まちづくり

住みやすく、働きやすく、人が集まる 持続可能なまちづくり

- ■国道159号・415号の整備促進
- ●新たな宅地開発と駅周辺の道路・駐車場整備
- ●農業経営基盤の強化
- ●若者の働く場の創出 (起業家・テレワーカー支援等)
- ●市民生活と事業者を守る物価高騰対策
- ●妙成寺国宝化と文化観光の推進

健康で文化的な 市民生活の向上

スポーツや文化を通じて 生き生きと過ごせる環境づくり

- ●スポーツ推進計画の策定(生涯・競技スポーツの推進)
- ●予防接種・がん検診・フレイル予防の推進
- ●遠隔診療をはじめとする在宅医療の充実化
- ●芸術・美術・音楽など文化活動の振興
- ●市民大学創設による生涯学習の推進

政策を支える 行政組織の強靭化

安定して政策を実現できる 人づくり・組織づくり

- ●政策を支える人材の確保と育成
- ●デジタル技術で行政サービスを便利に
- ●産官学金(民間、行政、大学、銀行)の連携促進
- ●ふるさと納税の強化による財源確保
- ●国・県・市の連携強化



博一選挙事務所

〒925-0033 羽咋市川原町テ53番地1 TEL 0767-22-3188 FAX 0767-22-3198 https://hiroichi-kishi.jp/

